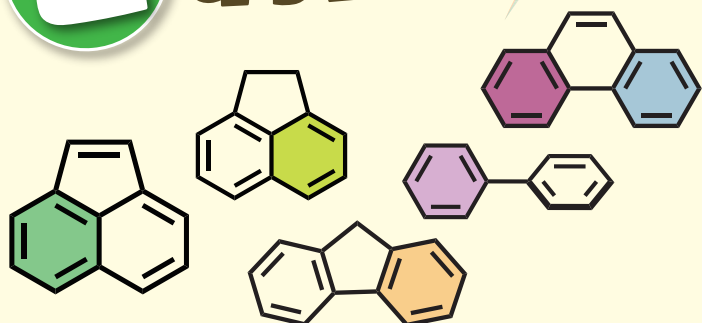




昆虫がナノカーボンを

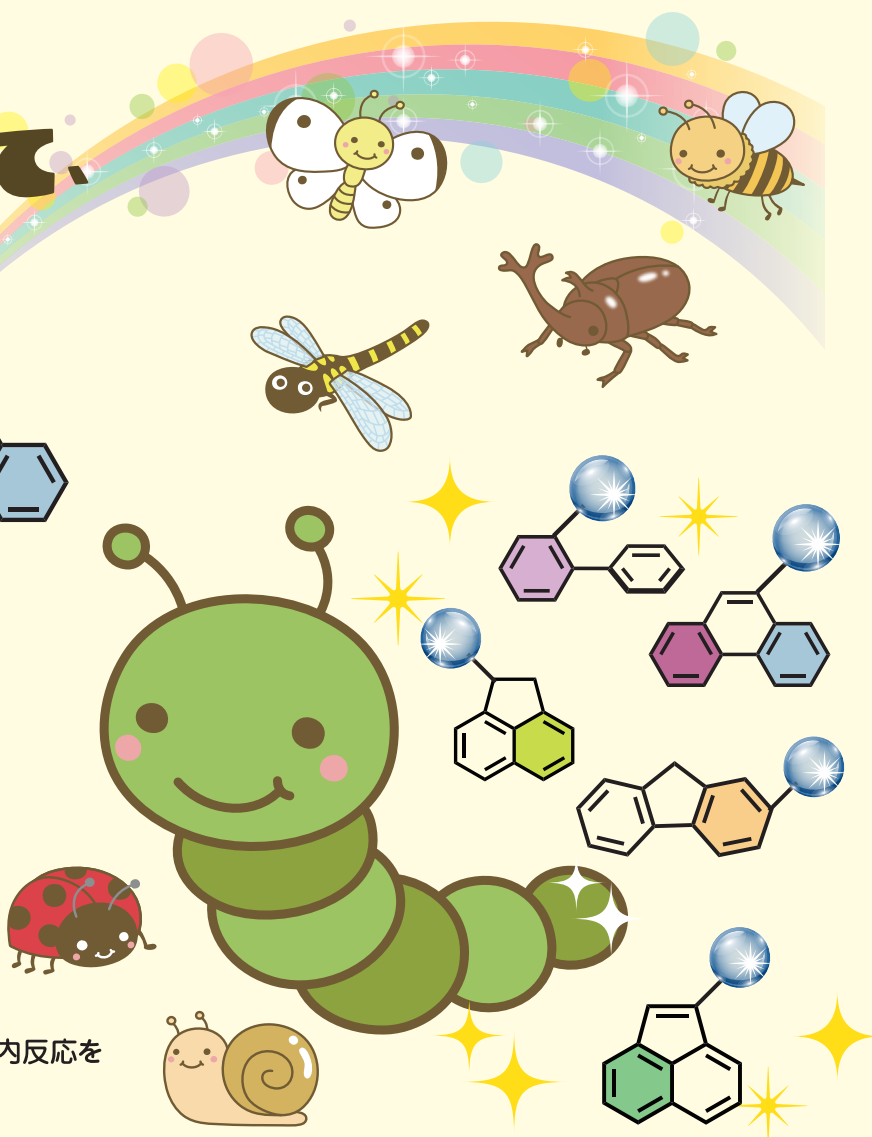
食べて、変えて、出す!!!!



とても小さな炭素の材料“ナノカーボン”の働きを変えるには、狙った場所だけをピンポイントで作り替える必要がありますが、従来は手間と廃棄物が課題です。

ところが、昆虫の体内では、少ない工程で驚くほど正確に反応を進めることができます。

今回、ハスモンヨトウ幼虫が「食べて、変えて、出す」体内反応を活かした新しい材料づくりをご紹介します。



うさみ あつし
〔ゲスト〕 宇佐見 享嗣氏

名古屋大学 高等研究院 /
トランスフォーマティブ生命分子研究所
特任助教 T-GEx[®] フェロー

名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程修了博士(工学)。
2020年度より、名古屋大学大学院理学研究科にて博士研究員として
生体触媒による機能性ナノカーボンの創製研究に従事し、2023年度
より、現職。2024年度より、TGEフェロー。専門は生物工学。
※文部科学省 若手研究者育成事業「世界的課題を解決する
知の「開拓者」育成事業」

2026.

4.27 MON

19:00-20:00 (ゲストトーク)

20:00-20:15 (Q&A)

参加費
無料

〔対 象〕 どなたでも(学生の方も歓迎)

〔セミナー申込〕 Zoomウェビナーにてお申し込み

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_DWvpGpMLQZWsCgQjQzw3QA

〔視 聴 方 法〕 Zoomウェビナーにて開催

お申込みされた方にウェビナー視聴URLがメールで届きます。
PC、スマートフォンよりアクセスしてご視聴ください。

〔問 合 せ〕 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 outreach@t.mail.nagoya-u.ac.jp

